

**三菱UFJモルガン・スタンレー証券、営業活動のDXを加速する
「アドバイザリーポータルシステム」を導入
新システムにより、営業員の提案力強化とお客さまサービス向上を実現**

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長：荒木 三郎／以下、三菱UFJモルガン・スタンレー証券）は、株式会社日立製作所（執行役社長兼CEO：東原 敏昭／以下、日立）の協力の下、デジタルトランスフォーメーション（DX）推進の一環で、お客さまへのサービス向上を支援する新しいCRMシステム*1として「アドバイザリーポータルシステム」を導入しました。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券は、世界的に実績のあるセールスフォース・ドットCOMの金融機関向けクラウドサービス「Salesforce Financial Services Cloud」（以下、FSC）を国内の証券会社として初めてCRMシステムに採用しました。

FSCには、お預り資産残高、他社資産残高、運用目標・実績に加え、お客さまご本人のみならず、ご家族全体の資産状況を反映することができます。これにより進学や不動産購入などのライフイベントを考慮した、お客さまの中長期ライフプランに沿った運用アドバイスをサポートします。

導入にあたっては、システム構築パートナーの日立が約50の関連システムと連携するCRMシステムを更改しFSCと融合させたことにより、システムの開発工程を大幅に圧縮し、短期間での構築を実現しました。「アドバイザリーポータルシステム」はスムーズなマルチチャネル対応や他システム連携を可能とし、お客さまニーズの変化にも柔軟に対応できる拡張性を有しています。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券は、今後も営業活動の分析機能やAI連携などデジタル技術活用によるお客さまサービス強化を図り、お客さまの多様なニーズに対応したアドバイザリー型ビジネスの強化に取り組んでまいります。

また、日立は、Lumada*2を中心に、お客さまのDXを加速するソリューションの拡充・強化を継続的に実施し、三菱UFJモルガン・スタンレー証券の新たなイノベーションの創出に向けた取り組みを支援します。

*1 CRMシステム：Customer Relationship Management の略。顧客情報を収集・管理し、分析などを行い、最適なお客さまへのアプローチや営業活動を支援するシステム。

*2 Lumada：お客さまのデータから価値を創出し、デジタルイノベーションを加速するための、日立の先進的なデジタル技術を活用したソリューション・サービス・テクノロジーの総称。

以上

■日立の金融ソリューションに関する Web サイト

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/finance/index.html>

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 金融システム営業統括本部 [担当：松浦、高島]

〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号

お問い合わせフォーム：<https://www.hitachi.co.jp/finance-inq/>

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
